

(財)九州産業技術センター

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
TEL 092-474-0042 FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp>

環境ビジネスの見本市でのマッチング支援

「エコテクノ 2010」で各種事業を実施

- 「九州・韓国・中国環境ビジネス交流会（商談会）」他 -



平成 22 年 10 月 13 日（水）から 15 日（金）の間、北九州市小倉北区の西日本総合展示場で、恒例の「エコテクノ 2010」が開催されました。今年度は、植物工場や新エネルギー・資源リサイクルなどの環境分野でも関心の高い分野のセミナーに加え、第 10 回環黄海経済・技術交流会議等の国際会議を同時開催したことから、アジアをキーワードとした国際展開に関する企画もより充実したプログラムとなっており、来場者 29,859 人で、盛況のうちに終了いたしました。

K-RIPでは、会員企業（販路開拓支援事業採択企業：4 社）の出展を支援するとともに、拠点組織と連携したブース出展を行いました。（写真左上）また、「第 3 回九州環境ビジネス大賞表彰式・発表会」（同右上）、「中国山東省青島市環境ビジネスセミナー」（同左下）、「九州・韓国・中国環境ビジネス交流会（商談会）」（同右上）、「第 2 回全国環境クラスター会議」等、数多くのイベントを実施しました。

①「エコテクノ 2010」出展

◆期 間：10月 13日（水）～15日（金） 3日間

◆場 所：西日本総合展示場 新館
(北九州市小倉北区)

◆来場者数：29,859名（前年比 89.8%）

◆展示内容：

i. K-RIPブース

○K-RIPの紹介パネル 3枚展示

○メイドインK-RIP、パンフレットを配布

○販路開拓支援事業 採択製品展示

（研機㈱、㈱サタコンサルタンツ、㈱ファーストソリューション、㈱宮防）

○4社の商談状況：面談件数90件、成約見込み3件

ii. 産業クラスターゾーン

○北九州、長崎、宮崎の3拠点とブースを並べ「産業クラスターゾーン」とし、来場者に環境への取組みを広く連携して実施していることをPRしました。



②第3回「九州環境ビジネス大賞」表彰式・発表会

◆日 時：10月 15日（金）

◆場 所：西日本総合展示場 新館（北九州市小倉北区）「『エコテクノ 2010』特設ステージ」

◆参加者：約 100名

【プログラム】

○第3回「九州環境ビジネス大賞」表彰式

【大 賞】

「NACシステム（高濃度気体溶解反応装置）」
(サワテック株式会社)

【優秀賞】

「雑草アタック」(日本乾溜工業株式会社)

【奨励賞】

「一般家庭ごみ量分析ツール」
(株式会社オーイーシー)

「糸島カキ殻有機石灰」(シタマ石灰有限会社)

「高性能有害物質浄化資材（ハイドロタルサイト系吸着剤）」
(日鉄環境エンジニアリング株式会社)

「レコサールVシリーズ」(不二コンクリート工業株式会社)



○第3回「九州環境ビジネス大賞」発表会

エコテクノ 2010 会場来場者を前に、受賞者の皆さんがあなたが上記製品のプレゼンテーションを行いました。

③山東省青島市環境ビジネスミッション団受入れ及び交流

ジェトロ地域間交流支援事業（R I T事業）において、「エコテクノ 2010」に併せ、山東省政府関係者や有力企業経営者を講師として招聘し、山東省内の環境ビジネスニーズ等を紹介する「山東省青島市環境ビジネスセミナー」、また、山東省から環境ビジネスミッション団を受入れ九州企業との商談会を開催するとともに、2011年3月に九州から青島市への派遣を予定している環境ビジネスミッションについて青島市環境保護局及び青島市商務局との事前協議を実施しました。

<ミッション団概要>

- ◆期 間：10月12日（火）～15日（金）
- ◆場 所：西日本総合展示場（北九州市）、北九州市内
- ◆RIT事業招聘ミッション団員数：青島市環境保護局13名（行政4名+企業9名）

<北九州市内企業等視察>

◇視察メンバー 青島市政府関係者（4名）、青島市企業（4社9名）、九州側事務局（7名）

◇視察概要

- ◆リサイクルテック㈱工場（北九州市若松区）
 - 日 時：10月12日（火）10:00～11:10
 - 事業概要：使用済OA機器のリサイクル、平成10年12月設立、資本金3,000万円
(株主：株式会社 新菱、株式会社 リコー)
- ◆北九州市エコタウンセンター（北九州市若松区）
 - 日 時：10月12日（火）11:20～12:00
 - センター概要：北九州エコタウン事業の中核的支援施設として環境学習、研修・講義の実施、視察対応、研究活動支援、環境管理、環境・リサイクル技術・製品の展示、市内環境関連企業の展示・紹介等。本館は平成13年6月、別館は平成15年7月に開館。
- ◆エスジーグリーン㈱（北九州市若松区）
 - 日 時：10月12日（火）12:00～14:30
 - 事業概要：ハウスでの野菜の水耕栽培・販売事業（栽培面積10,500m²）、平成19年4月設立、資本金9,000万円（株主：西部ガス株式会社100%出資）



[リサイクルテック㈱工場]



[北九州市エコタウンセンター]



[エスジーグリーン㈱]

＜山東省青島市環境ビジネスセミナー＞

環境・リサイクルビジネス市場のポテンシャルが注目される中国山東省から、青島市政府、企業協会、有力企業を招聘し、青島市の環境規制、環境ビジネス振興に向けた取り組み、現地企業の環境分野での取り組み等についてご紹介するセミナーを実施しました。



◆日 時：10月13日（水）14:00～16:10

◆場 所：西日本総合展示場 AIM（北九州市小倉北区）3F E展示場

◆参加者：60名以上

◆言 語：中国語（逐次通訳）

◆講 演

○青島市環境保護局国際合作処 処長 黄 建波 氏

中国青島市は、沿海開放都市として経済発展目覚ましく、家電メーカーのハイアールやハイセンス、青島ビール等中国を代表する企業が立地。

同市環境保護局は、青島市の資源保護、省エネルギー等環境保護政策・プロジェクトを推進しており、山東省が設定する目標を大きく上回る達成を実現し、国家環境保護模範都市にも位置付けられている。また、青島新天地静脈産業園は青島市北部、烟台市、威海市との間の莱西市に立地。



○青島市環境保護産業協会 秘書長 洛 本君 氏

調整、環境保護の実用技術と製品の登録・審査及び推薦・紹介、汚染処理プロジェクトの諮問及び審査、クリーナープロダクションの審査と相談サービス等を実施。また、国内外の環境保護技術交流、協力等も行う。



○青島市新天地投資有限公司 董事長 韓 清潔 氏

電子廃棄物の処理・リサイクル、再生資源の回収システムの建設、危険廃棄物処理、廃水、工場などの排出ガスの削減設備の設計、建設、運営、新エネルギー開発や利用、エコタウンの企画、建設、管理等幅広く手がけ業務分野が拡大中。

規模は、従業員数が新天地で200人以上、省内4子会社を含め1千数百人。売上高10億人民元。テレビ、冷蔵庫、パソコンといった家電の回収は年180万台到達見込み。廃自動車、廃建築材、固体廃棄物に加え、都市鉱山・レアメタルの廃棄物回収。廃プラスチックが今年増加。山西省大原や陝西省西安等、中国全土に事業を拡大すべく政府の認可を得、鉱物、医療廃棄物では山東省に大規模な施設を建設する計画。山西省でも同様に対応中。



④九州・韓国・中国環境ビジネス交流会（商談会）（RIT 事業商談会併催）

最新の環境技術を有する韓国企業、中国企業が、エコテクノ 2010 に合わせ北九州市で一堂に会し九州企業等との商談会を実施する機会を活用し、環境ビジネス商談会を開催しました。



◇商談会概要

- ◆日 時：10月 14 日（木）10:00～17:00
- ◆会 場：西日本総合展示場 AIM（北九州市小倉北区）3 F D～G 展示場
- ◆参加企業：韓国 36 社、中国 33 社エントリー、うちK-RIP RIT事業による招聘 4 社
- ◆商談分野：環境・リサイクル・省エネ関連の製品・技術 等

◇商談結果

- ◆商談会参加企業（九州・韓国・中国環境ビジネス交流会全体）

○九州 59 社、韓国 25 社、中国 26 社 ⇒ 商談件数：韓国 60・中国 54・計 114 件
(ジェトロ主催商談 189 件を除く)

○商談結果

商談結果		
①商談成立	2	1.8%
②可能性大	10	8.8%
③コンタクト継続	69	60.5%
④見込みなし	15	13.2%

商談内容		
①輸入	14	12.3%
②輸出	14	12.3%
③技術提携・共同研究開発	34	29.8%
④OEM受注	0	0.0%
⑤その他	29	25.4%

満足度		
①大いに満足	28	24.6%
②満足	34	29.8%
③普通	21	18.4%
④不満足	4	3.5%
⑤強く不満	0	0.0%

来年度参加意向		
①参加する	64	56.1%
②参加しない	0	0.0%
③わからない	23	20.2%

知的財産に関するやりとり		
①あり	12	10.5%
②なし	68	59.6%

◆K-RIP会員企業の商談状況

○K-RIP会員：商談実施 18 社 ⇒ 商談件数 37 件（うち山東省企業 14 件）

⑤第2回全国環境クラスター会議～アジア展開クラスター会合 in 北九州～

環境ビジネスのアジア展開を促進するための広域プラットフォームの構築に向けた取組みとして、全国の環境クラスターの横展開や各経済産業局と自治体間等の連携を進めるとともに、国や自治体、民間における特徴的な取組やそれに関する工夫や課題について、様々な立場の参加者間で情報共有を行うことにより、それぞれの活動に関わるヒントを得、顔の見える人的ネットワークを構築することを目的に、第2回全国環境クラスター会議が開催されました。

◆日 時：10月 15 日（金）10:00～

◆会 場：リーガロイヤルホテル小倉（北九州市小倉北区）ロイヤルホール

【プログラム】

◇「クラスター間連携に向けた取組」	近畿経済産業局環境・リサイクル課 課長補佐 九州経済産業局環境対策課 課長	森下 剛志 氏 西 孝之 氏
◇「大連日本環境産業テクノパークの紹介」	大連日本環境産業テクノパーク 董事長	高木 文平 氏
◇「地方自治体、大学における環境ビジネスの先進的取組」	北九州市環境国際戦略課長 早稲田大学社会工学システム研究所	石田 謙悟 氏 林 慶生 氏
◇「イノベネットの取組（金融連携等）」	全国イノベーション推進機関ネットワーク事務局長 (社)全国地方銀行協会業務部調査役	梶川 義実 氏 諫山 信彦 氏
◇「経済産業省及び経済産業局の取組」	経済産業省地域技術課長 各地方経済産業局より（東北・関東・中国・沖縄）	渋谷 浩 氏

⑥蔚山環境ビジネスミッションの受入れ

2010年度九韓環境ビジネス連携推進事業の一環として蔚山環境産業発展協議会ビジネスミッション団の受入を行ない、意見交換会及び産業観察を実施しました。

<ミッション団概要>

- ◆期 間：10月14日（木）～16日（土）
- ◆場 所：西日本総合展示場（北九州市小倉北区）、福岡県内、熊本県内
- ◆ミッション団員数：蔚山環境産業発展協議会 会長 許 義雄氏及び会員企業、蔚山大学教授、蔚山テクノパーク企業支援団等 合計18名

<K-RIP、(財)福岡県産業廃棄物協会、蔚山環境産業発展協議会の意見交換会>

相互に情報交換を行い、今後もこのような協議の場を継続していくことを確認しました。

- ◆日 時：10月14日（木）16:00～17:30
- ◆場 所：北九州国際会議場11会議室
(北九州市小倉北区)
- ◆参席者：(蔚山側) 蔚山環境産業発展協議会 15名
(九州側) K-RIP 4名、福岡県産業廃棄物協会 6名、
日韓産業技術協力財團 1名、
九州経済産業局 2名



<産業観察>

- ◆期 間：10月15日（金）～16日（土）

◆訪問先：

- アミタ(株) 北九州循環資源製造所（廃棄物再資源化：北九州市若松区）
- 北九州市エコタウンセンター（北九州市若松区）
- (株)N R S（産業廃棄物中間処理：北九州市若松区）
- (株)三和興業 篠栗リサイクルセンター（アスファルト、コンクリート廃材再生：福岡県糟屋郡篠栗町）
- (株)日本リモナイト（阿蘇黄土を原料とした畜産用飼料、脱硫化水素剤等製造販売：熊本県阿蘇市）



[アミタ(株)北九州循環資源製造所]



[北九州エコタウンセンター]



[株)N R S]



[株)三和興業 篠栗リサイクルセンター]



[株)日本リモナイト]

九州経済界との交流イベント 環境ビジネス交流会 －九州経済連合会環境委員会との共同開催事業－

環境ビジネスは、メーカー・リサイクル業者、販売代理店等の関係会社との連携なしに、一社のみで事業化することはきわめて困難です。そこで、様々な環境サービスの提供者の多いK-RIPと、環境サービス利用者の多い(社)九州経済連合会の会員企業とのマッチングの機会となるよう、環境ビジネスのネットワークづくりの一環として、ビジネスパートナー交流会を開催いたしました。



本交流会は、九経連の資源・環境委員会に合わせて平成22年11月25日に開催し、104名の出席がありました。前半の基調講演では株式会社リサイクルワン取締役の本田大作氏より「アジアにおける環境ビジネスの展開可能性」と題して、アジアにおける環境ビジネスの現状と、今後の展開の可能性についてお話しいただきました。

後半のK-RIP企業の環境配慮製品の紹介では、第3回九州環境ビジネス大賞の各賞を受賞された6社と販路開拓支援事業で採択された4社がそれぞれの製品・サービスについて発表しました。また、発表後の意見交換会ではパネルや製品展示を行い、九経連会員企業に対し個別に商品説明するなど、ビジネスマッチング創出の機会となった交流会でした。



株式会社リサイクルワン

URL: <http://www.recycle1.com/>

リサイクルワンは、顧客である民間企業・公的機関の環境のお悩みに応えるようご支援を続けた結果、廃棄物・リサイクルの分野を皮切りとして、不動産にまつわる環境汚染、CO₂・エネルギー等、幅広い分野のソリューションサービスを持つに至りました。また、環境対策工事やリサイクルプラスチック製品の製造、排出権を用いたカーボンオフセット等、アセットを用いる事業も複数運営し、自らが主体となることで、よりインパクトのある環境価値の創造に取り組んでいます。

さらに急速な経済発展に対して環境対応が追いついていないアジア圏において、現地パートナー企業とともに環境事業を展開していきます。

環境ビジネスの見本市でのマッチング支援 「エコプロダクツ 2010」に出展

平成 22 年 12 月 9 日（木）から 11 日（土）の間、東京都の「東京ビッグサイト」にて、恒例の「エコプロダクツ 2010」が開催されました。今回も、自動車・家電等、大手メーカーを含む各企業によるブース出展のほか、記念シンポジウム「エコプロダクツ的未来のススメ」などシンポジウムやトークショウ、コンサートなど充実したプログラムとなっており、来場者 183,140 人で、盛況のうちに終了いたしました。

K-RIPでは、エコテクノ 2010（10月・北九州）、NEW環境展（11月・福岡）に引き続き、会員企業（販路開拓支援事業採択企業：4社）の出展支援を行いました。



「国際ネットワーク交流会」を開催

立命館アジア太平洋大学（APU）との連携により開催した「九州環境クラスター大学 国際ネットワーク交流会」において、海外ビジネス展開している企業の経営者及び国際人材をパネリストとしたパネルディスカッションを行い、企業と学生の交流を深めました。

◆日 時：12月 8 日（水）

◆場 所：立命館アジア太平洋大学 コンベンションホール
(別府市)

◆参加者：35 名



【プログラム】

◆基調講演：「アジアの知的財産権の現状と国際ビジネスにおけるその重要性について」

　　講師：新樹グローバル・アイピー特許業務法人 弁理士 金高 善子氏

◆パネルディスカッション：「いま環境ビジネスに求められている国際人材とは？」

　　コーディネーター：立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター 教授 高野 憲治 氏

　　パネラー：《企業経営者》信号電材株式会社 取締役会長 糸永 一平 氏

　　本多機工株式会社 代表取締役社長 龍造寺 健介 氏

　　《国際人材》 株式会社アミタ 営業本部 広域営業課 海外営業グループ 姜 普卿 氏

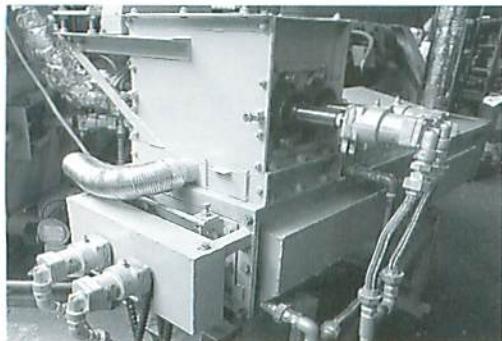
　　空研冷機株式会社 技術部設計課係長 北原 宏泰 氏

◆ポスターセッション&情報交換会

販路開拓支援事業採択企業のご紹介

販路開拓支援事業では、営業戦略構築に向けた専門家派遣や支援会議、全国・世界から集客のある環境展示会への無料出展等、K-RIPネットワークを活用した様々な支援を実施しています。

今回は、平成22年度に採択された企業4社とその製品についてご紹介します。



低圧蒸気乾燥器「何でも乾(かわ)くん」

(研機株式会社、福岡市)

1台の乾燥機で木材固形物から付着性の強い汚泥まで対応できる乾燥機であり、乾燥熱源に大気放出している余剰蒸気を使用するためCO₂排出削減につながる。



新規触媒法による水処理(脱窒・脱色)システム「太陽システム」

(株式会社サタコンサルタンツ、鹿児島市)

常温下で汚染された用排水と触媒との接触槽に陽極と陰極を設け、直流電流を通電させて增幅された触媒反応(酸化及び還元)により、硝酸性窒素は窒素ガスに、有機物は二酸化炭素に変換。これにより浄化レベルが改善。



「MC(メッシュ・カット)工法による濁水・汚泥の脱水～輸送システム」

(株式会社ファーストソリューション、福岡市)

自然沈殿では分離できない濁水・汚泥を、高速汚泥反応装置と凝集剤を用いて、高速に沈殿・分離処理し、さらに、その沈殿物をフロック脱水装置を使って脱水することにより、脱水ケーキ(濁水・汚泥の固形物)の量を最小化する。



遮熱塗料「ファームバリア」

(株式会社宮防、宮崎市)

畜舎・飼料タンクや生コン車ドラム等に塗装することにより、建物やタンク内の温度上昇を抑制する作用があり、省エネ効果や品質保持の効果が期待できる。

環境ネットワークと学びの場「エコ塾」

－毎月第1水曜日開催－

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）では九州経済産業局と連携して、環境分野の人的交流、企業間交流の活性化を目的とする、「エコ塾」を毎月1回開催しております。「エコ塾」は、環境関連ビジネスに取り組む企業や環境ビジネスを支援する団体などのプレゼンテーション（毎回2社講演）と、講演会後に行います、参加自由の立食形式の交流会の2部形式となっております。

今回は第41回～第43回までの概要を報告します。

第41回エコ塾（10月6日）

◆ 「環境活動情報の交差点づくり」

◇発表者：九州環境パートナーシップオフィス（EPO九州）コーディネーター 澤 克彦 氏

◇概 要：EPO九州では九州地域におけるNPO、企業及び市民のパートナーシップ作りの拠点活動を行っています。具体的には企業・団体と連携し環境施策や環境事例のセミナーを行うほか、HP、メールマガジンによる情報発信やメディアと連携した情報発信などにも力を入れて活動されています。本講演では実際の取組事例や、コーディネーターの役割についてお話し頂きました。

◆ 「地域森林資源の有効利用による紙作り」

◇発表者：中越パルプ工業㈱川内工場・福岡営業所 川内工場 事務部長 細川 和幸 氏

◇概 要：九州は全国の45%近い竹林面積を誇っておりながら、その多くが放置竹林となっている現状で、竹林の活用は重要になっていることです。これら竹林を資源として活用する事例として国産竹から紙を作る取組についてお話しいただきました。実際に竹から作ったノートやはがきなどの製品の展示等も行っていただき、参加者に地産地消を行うことで環境と地域に貢献出来るというお話しを頂きました。



[講演中のEPO九州 澤コーディネーター]



[中越パルプ工業の製造している竹製品]

第42回エコ塾（11月10日）

◆ 「『ミドリムシ』の無限に広がる可能性について」

◇発表者：株式会社ユーグレナ 取締役マーケティング部長 福本 拓元 氏

◇概 要：東京大学発のベンチャー企業として世界で唯一ユーグレナ（ミドリムシ）の大量培養に成功。「航空燃料、魚や動物の飼料、人間の為の栄養素、化粧品素材等」を作り出す事が可能であり、二酸化炭素の循環からエネルギーと栄養を生み出すエコ素材としてのユーグレナのもつ可能性についてご説明いただきました。特に、砂漠地帯の巨大ユーグレナプランクトや炭素循環型発電所などユーグレナの将来展開は印象的でした。

- ◆ 「アマミファッショ研究所&株式会社フラウ 主婦生活総合研究所コラボ～黒糖もろみ

化粧水「あま肌」の販路開拓に向けた取り組みなどについて～」

◇発表者：株式会社フラウ 主婦生活研究所所長 山形 美香 氏

◇概要：地域の女性（主婦やシニアの方々）の地域に埋もれた能力を活かした製品開発や販路拡大への取組についてご紹介いただきました。具体的には黒糖焼酎のもろみ成分を使った化粧品「あま肌」（アマミファッショ研究所）の製品開発と販売までを事例としてお話しを行っていただきました。女性による徹底したマーケティングと製品評価によりエンドユーザーを考えた商品開発は非常に特徴的でした。



[交流会の(株)ユーグレナ福本部長（左）]



[講演中の主婦生活研究所山形所長]

第43回エコ塾（12月1日）

- ◆ 「設備投資不要の省エネ行動管理ソフトの実力と必要性について」

◇発表者：株式会社 チェンジバリュ 代表取締役 杉本 明文 氏

◇概要：「省エネ行動管理」という手法によって設備投資によらないCO₂排出量削減とコスト対策についてお話しいただきました。従来、運用改善はめんどくさいというイメージですが、省エネ行動管理ソフトを活用することで主業務に影響を及ぼさない作業量でコスト対策と環境保全が出来るというお話は多くの企業が参考にできると感じました。

- ◆ 「開発における作業分析の研究や医療機器に使用される金属の分別及び再資源化促進に向けた取組について」

◇発表者：伊吹運送有限会社 代表取締役 伊吹 博 氏

◇概要：CTやMRIという医療機器には多くのレアメタルが使用されており、なかなか回収が進んでいないという現状に対し独自の技術とネットワークを用いて病院内で解体・取り出しを行い解体搬出時における金属の分別と再資源化促進に向けた取組についてお話しいただきました。産業廃棄物となれば企業の負担となりますが、資源として再利用することで企業の負担を利益にするWin-Winの関係を築いている点が特徴的でした。



[講演中の(株)チェンジバリュ 杉本代表取締役]



[講演中の伊吹運送(株)伊吹代表取締役]

22年度新規会員企業紹介

今年度〈平成22年12月現在〉、K-RIPには21社(法人)の新規会員が入会されました。このページでは、22年度にK-RIPに新規加入されました会員をご紹介致します。

(今号・次号の2回にわたって紹介致します)

伊吹運送有限会社

1. 病院、医院、クリニック等の医療機器(MRI、IVR-CT、IVR、CT、放射線治療装置、X線診断装置)、及び設備機器等の搬入据付及び解体搬出作業を行い、従来は産業廃棄物として処理されていたものを産業廃棄物としてではなく再資源材として取り組み、国内での資源循環システムを促進する積極的な展開を行っています。

2. 機器解体搬出工事を自社だけで行うのではなく地元の企業と綿密に打合せ協同で行い地元の日本鉄リサイクル工業会会員事業者に再資源化をお願いしています。

〒851-2121 長崎県西彼杵郡長与町岡郷 561-3

TEL: 095-887-1348 FAX: 095-887-1402

本多機工株式会社

本多機工は、お客様が要求する難しいポンプを主体としたステンレス製の渦巻ポンプを製造販売しています。自動車のバンパーやタイヤ等の原材料であるラテックスの専用ポンプ、火力発電所の排煙脱硫装置に使用される特殊材のポンプ等、汎用以外の用途を主体としたマーケットを中心に活動しています。また、発電所、石油化学を始め、製鉄所、半導体工場や食品といったあらゆる産業に対し貢献しており、アジアを中心としたあらゆる世界各国へ納入し、その数50カ国以上の国へ輸出も行っています。さらには、アメリカ、ドイツ、デンマークのポンプメーカーとも提携し、総合ポンプソリューションメーカーを目指しています。また、昨今では開発商品である大容量マイクロナノバブルポンプの展開を開始し、既にインド、タイ、シンガポールといった世界各国で活躍しています。

〒820-0202 福岡県嘉麻市山野2055

TEL: 0948-42-3111 FAX: 0948-42-3116 URL: <http://www.hondakiko.co.jp/>

エコ推進事業協同組合

エコ推進事業協同組合は経済産業省九州経済局および国土交通省九州整備局の認可団体です。エコ機器やエコサービスの企画・開発、製造、販路開拓、販売、コンサルティングを行っております。中小企業の組合員の企業を支援し、事業発展に向け組合員が相互に協力することで、優れたエコ機器やエコサービスを通じて社会のエコ推進に寄与することを目標に集いました。組合の趣意に賛同する会員を全国に募集し、活発に事業を勧めたいと思っております。

〒839-0809 福岡県久留米市東合川5丁目6番6号

TEL: 0942-50-6658 FAX: 0942-50-6657 URL: <http://ecocorp.jp/>

有限会社オイルプラントサービス

当社は排気ガス削減装置『エコボックス』の製造・販売を主に、危険物施設の設計・施工を行う企業です。

(エコボックスについて)

当社の新技術により開発された装置で、船舶ディーゼルエンジンの燃焼効率の向上、排気ガスの減少、エンジン馬力・トルクの向上等で燃料の節約が可能な環境対策に寄与する画期的な商品です。現在約230隻以上の実績があり、導入されている企業様やお客様が続々増えております。

〒812-0055 福岡県福岡市東区東浜2丁目1-52

TEL:092-651-0058 FAX:092-651-9100 URL:<http://www.ops-net.com/>

株式会社チェンジバリュ

2000ヶ所を超える施設で省エネを指導してきた中で、15%削減効果を継続する施設の特徴と独自のノウハウをシステム化した実効性の高い業務管理ソフトを開発。長引く不況から市場ニーズが急増中の「コスト削減・省エネ対策」を支援します。

- エネルギーコスト対策コンサルティング(現場監督ソフト『エコアクティブ』サービス)
- オフィスコスト対策コンサルティング
- 税金・保険対策コンサルティング

〒811-3208 福岡県福津市福間駅東1丁目1-1-508

TEL:0940-36-9001 FAX:050-3488-4445

壽環境機材株式会社

●AquaEngineering

用水設備、排水処理設備、洗浄設備のコンサルティング、設計、製作、施工、メンテナンスまでトータルなサービスを提供致します。

●Engineering Construction

お客様のニーズを正確に把握し最良のコストパフォーマンスを図ります。

●Assessment & Consulting

環境とのより良い調和を第一に考え経験豊富なスタッフが最適なプランづくりをお手伝いします。

●Maintenance & Afterfollow

多くの実績が生んだ良質なメンテナンス、幅広い分野で一貫したサービスを提供します。

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-2 (九州営業所)

TEL:093-621-5560 FAX:093-621-5580

インフォメーション

○中国環境ビジネスミッション

(1) 平成 22 年度『九州 - 遼寧省(大連・瀋陽) 環境ビジネスミッション』

昨年に引き続き、これまで築き上げてきた九州と大連市の友好関係を踏まえ、九州経済産業局長、K-RIP麻生会長等をメンバーとするミッション団の派遣を行います。

今回も大規模なセミナーを大連市にて開催するとともに、大連・瀋陽の両市で個別商談会を実施する予定です。



[前回セミナーの様子（大連市）]

- ◆主 催：(財)九州産業技術センター、
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP)、
北九州市アジア低炭素化センター
- ◆日 程：1月 18 日 (火) ~ 1月 22 日 (土)

【プログラム】(予定)

- ◆ 1月 19 日 (水)
 - 【会場】大連シャンギリラホテル
 - 10:00~12:00 九州・大連環境産業セミナー
 - 13:00~16:30 九州・関西-遼寧省(大連)環境ビジネス商談会
 - (13:30~15:30) 第2回環境産業交流会議
- ◆ 1月 20 日 (木)
 - 9:30~12:00 大連日本環境産業テクノパーク視察(花園口経済開発区)
- ◆ 1月 21 日 (金)
 - 9:30~11:00 企業視察
 - 【会場】瀋陽スマートホテル
 - 12:10~13:20 九州・関西-遼寧省環境ビジネス商談会開会セレモニー及び昼食交流会
 - 13:30~16:30 九州・関西-遼寧省(瀋陽)省エネ・環境ビジネス商談会

(2) 平成 22 年度『九州 - 山東省(青島市) 環境ビジネスミッション』

これまで築き上げてきた産業交流の実績とノウハウを踏まえ、水平展開を図るべく、今年度から山東省との相互交流がスタートしました。そこで今回、山東省内(青島市、烟台市、濟南市等)の中国企業と日本企業の環境ビジネスの交流促進のため、青島市へのミッション団の派遣を行います。同ミッションでは、現地セミナー、商談会、交流会、現地プロジェクト・企業の視察等を予定しております。

- ◆主 催：(財)九州産業技術センター、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP)
北九州市アジア低炭素化センター、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)
- ◆日 程：3月 2 日 (水) ~ 3月 5 日 (土)

○平成 22 年度九州環境セミナー～拡大エコ塾 in 大分～

拡大版エコ塾は、平成 20 年度より年に 1 回開催しており今回で 3 回目になります。通常、福岡県で行っているエコ塾を九州他県で出張開催することで九州域内の企業間交流の場を提供しエコ塾の輪が九州全体に広がっていくことを目的としています。

今回は、大分県の企業ニーズにマッチする環境関連企業 4 社の講演及び大分県の環境産業支援や産業公害防止調査報告等を行います。

- ◆主 催：(財)九州産業技術センター、
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)、
環境省九州地方環境事務所、大分県
- ◆日 時：2月 3 日（木）講演会：13：30～17：00
交流会：17：30～19：00
- ◆会 場：全労災ソレイユ（大分市）
- ◆定 員：100 名

○第 2 回環境イノベーションフォーラム

～九州の産地力を高めよ！環境技術の地域内セッション～

九州地域、特に南九州では、生態系サービスをはじめとする生物多様性に基づいた農林畜産業や水産業が盛んな地域ですが、同時に有機系廃棄物の処理や温暖化による環境変化への対策が地域振興における大きな問題となっています。

K-RIPでは九州経済連合会やEPO九州等関係機関と連携し、農商工連携の促進を図ることを目的とした交流型フォーラムを開催します。

- ◆日 時：2月 9 日（水）13：30～17：00
- ◆会 場：鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市）
- ◆定 員：100 名
- ◆内 容：基調講演：（テーマについては未定）

講演者 浜本 奈鼓 氏（N P O 法人くすの木自然館 専務理事）

環境技術・活動事例発表：
○雲海酒造株式会社 ○中越パルプ工業株式会社
○株式会社熊本清掃社 ○鹿児島大学
○N P O 法人九州環境保全循環システム
○N P O 法人循環生活研究所



[前回（平成 22 年 2 月）の様子]

各イベントの詳細な内容は後日、K-RIP ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

[Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza] (K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 事務局

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東 2 丁目 13-24
(財)九州産業技術センター内
TEL 092-474-0042
FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp/>
e-mail info@k-rip.gr.jp

